# 徳洲会グループ医師 “Best Doctors in Japan”に21人

## 「医師間で信頼されている医師」を相互評価

徳洲会グループ病院に所属する 21 人の医師が「Best Doctors in Japan 2026-2027」に選出された。「ベストドクターズ」は過去 30 年近くにわたり、医師間の相互評価（ピアレビュー調査）をとおし「医師間で信頼されている医師」を 2 年おきに選出している。医師同士が相互評価する継続的な調査として医療界最大級。米ベストドクターズ社が主催し、450 以上の専門分野と副専門分野から世界各国の医師 5 万 3,000 人超（日本では約 7,100 人）を選出している。受賞者の声を紹介する。

南部徳洲会病院（沖縄県）
**眞鍋良彦・放射線治療科医長〈初選出〉**

### 定位照射で全国屈指



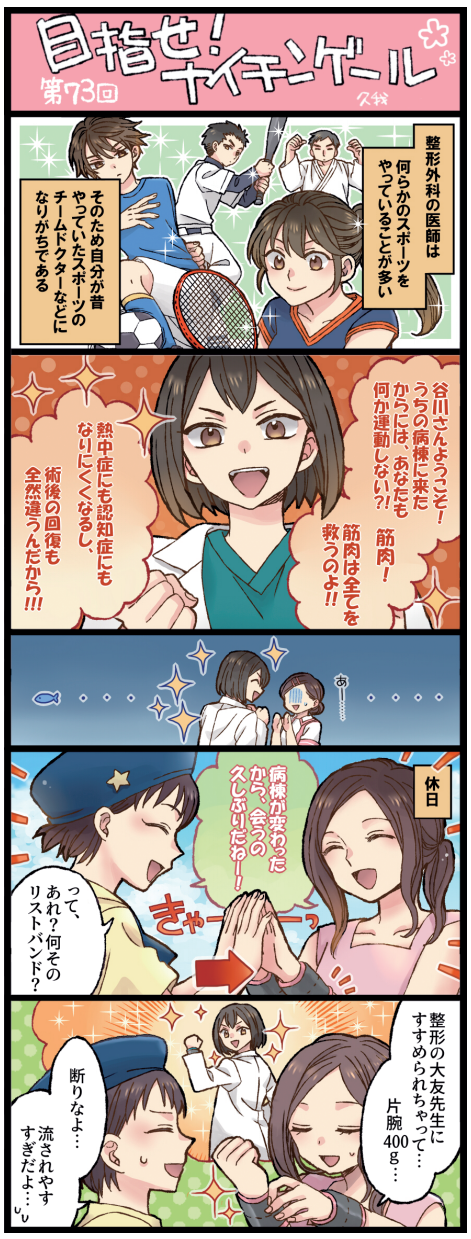
当院は、サイバーナイフによる体幹部定位照射が年間 120～130 例と全国トップクラスで、これまで 700 例以上の治療を手がけました。その実績を評価いただけ、うれしく思います。放射線治療への不安を丁寧に説明し、納得いただける診療を心がけています。

中部徳洲会病院（沖縄県）
**内間恭武・消化器外科主任部長〈7回目〉**

### ロボット支援手術を底上げ



全国的な学会・講演活動を評価いただいたと思います。後進の育成をつねに考え、患者さん一人ひとりに応じた診療を心がけています。徳洲会グループのロボット支援手術の底上げにも取り組みます。




井谷史嗣・腹部総合ヘルニアセンター長〈9回目〉

### 安全確実な手術を追求



安全確実な手術を目指し、良いと思う手技は積極的に取り入れてきました。尊敬する先輩に教わった「鬼手仏心」を忘れず、ロボット支援による鼠径ヘルニア治療の標準化を目指します。

神戸徳洲会病院
**松岡俊三副院長（心臓血管内科）〈2回目〉**

### わかりやすい診療を心がけ



患者さんが何のために治療をするのか、しないのかを理解し、その場にいないご家族にも自分で説明できるよう、わかりやすい診療を心がけています。今後も双方が納得のいく医療を続けていきます。

和泉市立総合医療センター（大阪府）
**光冨徹哉総長（呼吸器外科）〈10回目〉**

### 肺がん治療を長年追究



肺がんの外科治療や分子標的治療の研究・診療に長年取り組んできたことを、同じ医師の方々に評価いただいたと受け止めています。支えてくださった皆さまに感謝いたします。

田中秀典・副院長兼呼吸器センター長〈初選出〉

### 地道な診療を継続



日々、地道に診療を続けてきたことを評価いただいたのかもしれません。患者さんの期待や希望に沿えるよう心がけ、「呼吸器疾患なら和泉で」と言っていただけるよう努力を続けます。

野崎徳洲会病院（大阪府）
**小泉雅彦・放射線科センター長〈8回目〉**

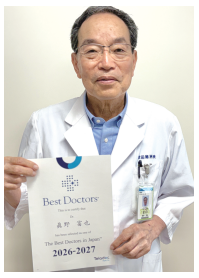
### 根治から緩和まで対応



学会発表や、がん専門人材の育成など、院外での交流が多かったことが評価につながったと思います。身体に優しく根治から緩和まで対応できる放射線治療を、院内外を問わず提供してまいります。

吹田徳洲会病院（大阪府）
**眞野富也・副院長兼アイセンター長〈10回目〉**

### 患者さんの最善にこだわる



何が患者さんにとって一番良いのかを考えて診療してきました。それは、これからも変わりません。医師として、この先ずっと患者さんのために、たゆまぬ努力を重ね、精進してまいります。

※和田英路・副院長（整形外科）〈5 回目〉、多田弘人・呼吸器外科部長〈10 回目〉、蒲生和重・整形外科部長、岡田あすか呼吸器内科部長も選出。

葉山ハートセンター（神奈川県）
**浅井徹・心臓血管外科特別顧問〈5回目〉**

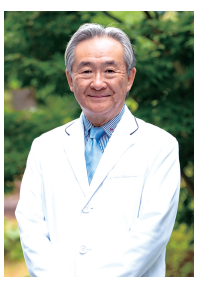
### チームでベストを提供し続け



患者さんに何がベストかを、つねにチームで考え、重症・高齢・緊急でも決してお断りしない診療を行っています。低侵襲 MICS 僧帽弁形成術など、より良い治療を目指し、早期に安心して日常生活へ戻れるように努めてまいります。

湘南鎌倉総合病院（神奈川県）
**小林修三院長（腎臓内科）〈6回目〉**

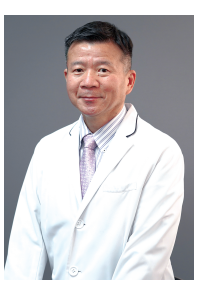
### 生活背景まで診る！



紹介患者さんが多かったことや、診療の動機づけを加えたわかりやすい説明、学術活動を評価いただいたと思います。患者さんの生活背景まで考えて診療にあたり、後輩の指導にも力を注いでいます。

上村博司・泌尿器科主任部長兼前立腺センター長〈10回目〉

### 最先端治療や治験にも取り組む



前立腺がんなど泌尿器がんの最先端治療や治験に多く取り組んできたことを、評価いただいたと思います。

患者さん一人ひとりと向き合い治療を続けながら、前立腺がんや泌尿器科の適切な薬物治療の確立を目指します。

日髙寿美・腎臓病総合医療センター長〈3回目〉

### 患者さんの腎臓と人生を守る



多発性嚢胞腎の診療や腎移植など、幅広く手がけてきたことを評価いただいたと思います。患者さんの考えをよく聞き、「腎臓病総合医療センターに来て良かった」と思っていただける医療を、多くの方に届けたいです。

藤井正一・外科統括部長〈7回目〉

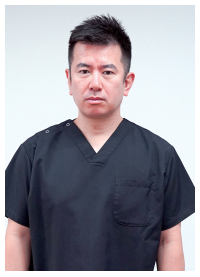
### 外科の魅力をもっと若手に



臨床も学術活動もつねに全力で取り組んできました。外科診療の基本を守りながら、最新の知識・技術へ更新し続ける姿勢を保っています。若手に外科の魅力をもっと伝えていきたいです。

二村謙太郎・外傷センター部長〈2回目〉

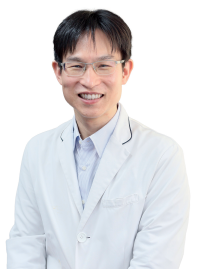
### 礼節を保つことを大切に



患者さんや職員、他院の先生方に対し、常日頃から礼節を保つことを大切にしています。関東圏の重症外傷の最後の砦として、外傷センターの医療体制を今以上に拡充していきたいと考えています。

村井太郎・放射線腫瘍科部長〈初選出〉

### 患者さん個々に寄り添う



学会活動や広報活動を評価していただいたと思います。エビデンスと患者さん個々の事情のバランスを大切にし、構想している複数の臨床試験を軌道に乗せていきたいと考えています。

千葉西総合病院
中村喜次・院長代行心臓血管外科主任部長兼低侵襲心臓手術センター長〈4回目〉

### 寄り添う治療と最先端治療に尽力



患者さんに寄り添う治療を続けながら成績を落とさず、最先端治療の実績を積み重ねてきた結果だと思います。世界有数のロボット心臓手術の実績を土台に、冠動脈への新たな治療も進めていきます。

増淵達夫・頭頸部外科部長兼頭頸部腫瘍センター長〈4回目〉

### 多職種で患者さんの最良を



多職種の職員と日々精一杯、頭頸部診療に取り組んだ結果だと思います。一人ひとりの生活や社会的背景を考え、患者さんにとって最良の治療を提供するよう心がけています。